

《同時発表》 九州地方整備局

平成 30 年 8 月 3 日

港湾局産業港湾課



朝鮮通信使の歴史が生まれたみなと

～ 「みなと」を核とした賑わい創出！ 「みなとオアシス対馬 厳原」 ～

国土交通省港湾局は、平成 30 年 8 月 4 日に「みなとオアシス対馬 厳原」（長崎県対馬市）を賑わいの拠点となる「みなとオアシス」に登録し、「厳原港国内ターミナル」等において、地域住民の交流促進や地域の魅力の向上につながる取り組みを行います。

- 「みなとオアシス」とは、「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、住民参加による地域振興の取組が継続的に行われる施設を国土交通省港湾局長が登録するものです。
- 「みなとオアシス対馬 厳原」の登録により「みなとオアシス」は全国 120 箇所になります。（同日付で長崎県対馬市において、「みなとオアシス対馬 比田勝」を登録します）
- 8 月 4 日（土）は「対馬 厳原港まつり」にて、「みなとオアシス登録証交付式」を開催するとともに、朝鮮通信使の行列パレードなどの各種イベントも同時開催されます。

「みなとオアシス対馬 厳原」のポイント!!

- ★代表施設「厳原港国内ターミナル」は、博多港と厳原港を結ぶ定期船の発着点！
- ★久田魚市荷さばき地では、毎週土曜日に地元で獲れた新鮮な海産物等を提供！
- ★観光情報館ふれあい処つしまは、観光案内窓口や食堂、24 時間利用可能なトイレ等を備えている。



厳原港国内ターミナル



久田魚市荷さばき地での朝市



対馬 厳原港まつり

※ 「みなとオアシス」の関連情報については、下記 URL からご覧いただけます。

- ・ 国土交通省港湾局 HP : http://www.mlit.go.jp/kowan/kowan_tk1_000001.html
- ・ 一般社団法人ウォーターフロント協会 HP : <http://www.waterfront.or.jp/oasisu/about.html>

＜問い合わせ先＞ 港湾局 産業港湾課 担当：的野、黒木

Tel: 03-5253-8111 (内線 46-452、46-453)

03-5253-8672 (直通) Fax: 03-5253-1651

「みなとオアシス」の概要

みなとオアシス所在港湾の一覧

○みなとオアシスとは

- ・地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、平成15年に制度を設立
- ・国土交通省港湾局長が住民参加による地域振興の取り組みが継続的に行われる施設を登録するもの

○みなとオアシスの担う役割

- ・地域住民、観光客、クルーズ旅客等の交流及び休憩
- ・地域の観光及び交通に関する情報提供
- ・その他（災害時の支援、商業機能 など）

○みなとオアシスの構成施設

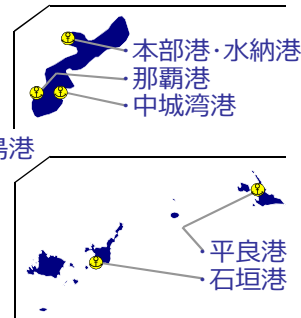
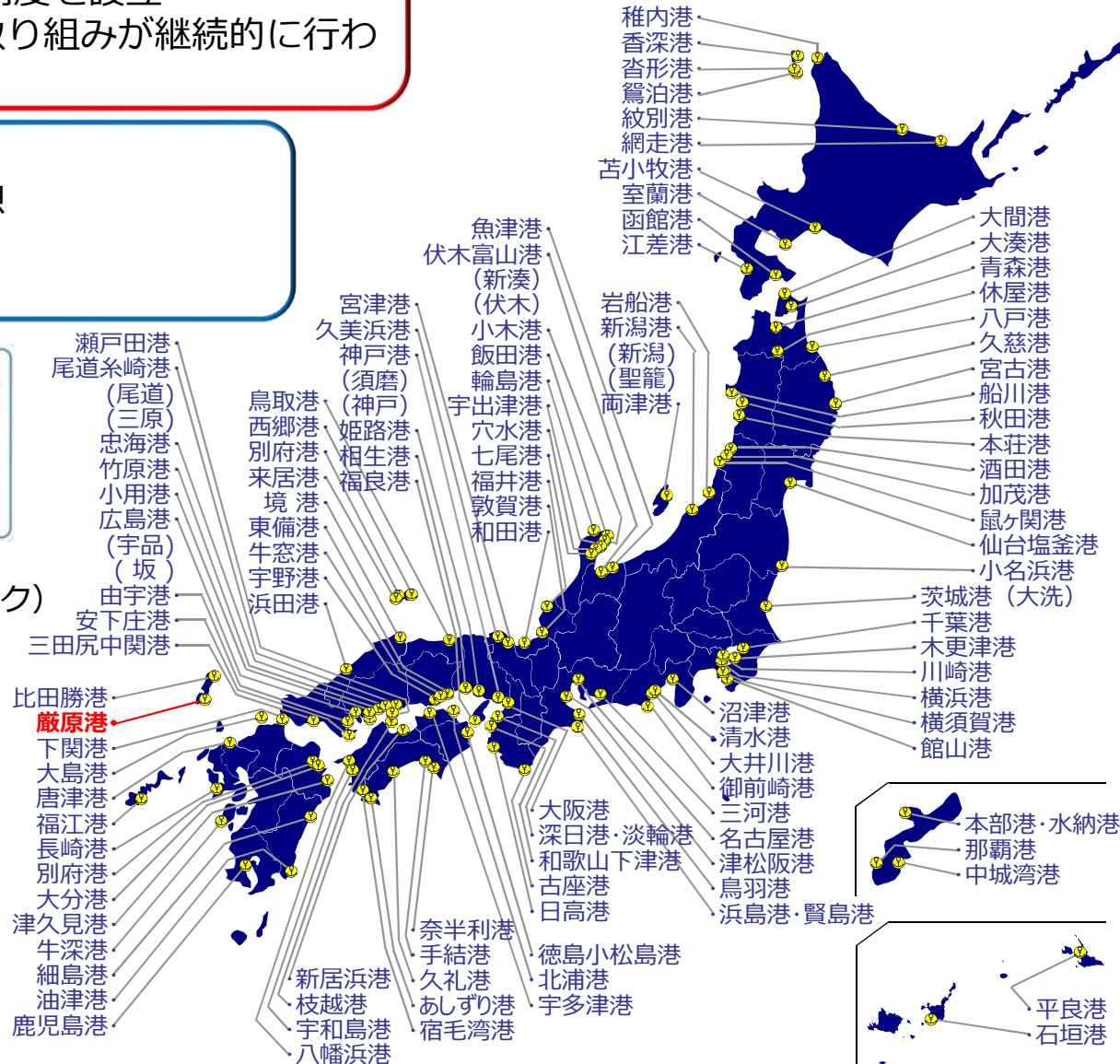
- ・旅客ターミナル
- ・地元産品の物販飲食店
- ・文化交流施設 など

○みなとオアシスの設置者・運営者

- ・地方公共団体（港湾管理者含む）
- ・NPO団体、協議会 など



標章
(シンボルマーク)



登録数 **120箇所**
(平成30年8月4日予定)

※ 「みなとオアシス対馬 比田勝」
「みなとオアシス対馬 厳原」 同日付登録



構成施設のイメージ



地域振興イベントの開催状況



国土地理院地図（電子国土Web）(<http://maps.gsi.go.jp>)をもとに国土交通省作成

【基本情報】	
設置者	長崎県 対馬市
運営者	長崎県 対馬市
所在港湾	厳原港 【重要港湾】
港湾管理者	長崎県



【代表施設】



厳原港国内ターミナル

【主なイベント】



対馬 厳原港まつり



対馬 厳原港まつり
花火大会



朝市



朝鮮通信使

朝鮮通信使は、豊臣秀吉の朝鮮出兵（文禄慶長の役）によって断絶した日本と朝鮮の国交を回復するため、徳川家康の意向を受けた対馬第19代島主・宗義智（そうよしとし）の外交努力により朝鮮から日本に送られるようになった外交使節団です。江戸幕府の将軍が代わるごとに日本を訪れ、学問や文化の交流も深めていました。使節団は対馬 厳原港から日本へ入り、江戸まで向かっていました。対馬藩が朝鮮との外交交渉を担って、国交回復交渉から江戸時代を通して外交・貿易を展開し、両国の関係維持に尽力していました。

平成29年10月31日には「朝鮮通信使に関する記録」がユネスコ記憶遺産(世界の記憶)に登録されました。

現在では、8月初旬に開催する「対馬 厳原港まつり」において、韓国から正使・副使、舞踊団などを招請し、500名程の行列を再現しています。

対馬 厳原港まつり

厳原港で開催される対馬の夏を代表するイベントで、江戸時代に対馬藩が大きな役割を果たしていた国家的イベント「朝鮮通信使」の行列を再現したパレード、舟グロー（和船による競争）、納涼花火大会、子供みこし、歌謡ショー、よさこいなどが、みなとオアシスの構成施設である厳原港3・4号岸壁及びふ頭用地にて開催されます。



みなとオアシス対馬 厳原 みなとオアシス周辺の観光情報

① 万松院



対馬藩2代藩主・宗義成（よしなり）が、父・義智の冥福を祈って1615年建立し、菩提寺として特別の崇敬を受けてきました。

桃山様式の山門、百雁木、徳川歴代将軍の位牌、朝鮮国王から送られた三具足等を見ることができます。

② お船江



久田湾にそそぐ、久田川河川にある対馬藩の御用船を係留した5隻の船だまりのことで、別名お船屋ともいわれる。江戸時代、水辺の藩にはそれぞれ藩の船を格納する施設を設けていたということですが、遺存例が乏しい現在、日本の近世史上とても貴重な遺構となっている。

③ 万松院まつり



一年に一度、百雁木（ひゃくがんぎ）と呼ばれる123段の石段にある約350基の灯籠に明りを灯し、御霊をお祭りします。

闇に浮かぶ無数の灯籠が、幽玄な世界を醸し出す様は幻想的です。

④ 観光情報館ふれあい処つしま



対馬藩の家老・古川家の「長屋門」を再現した、対馬産木材と日本瓦の和風建築の観光情報館。施設内には観光案内所、特産品販売所、食堂、24時間トイレなどが設置されています。敷地内には路線バスのレーンもあり、島内各地への交通の起点となっています。





【交通・アクセス】

(飛行機)

・対馬空港から路線バスで約30分。

(フェリー)

・博多港から約4時間30分。

(高速船)

・博多港から約2時間15分。

【観光案内の問い合わせ】

【対馬観光物産協会】

電話：0920-52-1566

<https://www.tsushima-net.org/>

【対馬市役所 観光商工課】

電話：0920-53-6111

<http://www.city.tsushima.Nagasaki.jp/>

